

京阪萱島駅エレベーター設置工事が、七日からはじまりました。エレベーターは、萱島市民センター側改札の近くに、京都行き長年の住民からの強い要望で、完成は12月末とされています。

要望で、日本共産党もたびたび議会でとりあげてきました。

法律相談

とき: 8月18日(金)夜6時半より

ところ市民会館第3・4会議室

予約 お問い合わせは當市難波まで

萱島駅エレベーター 設置工事はじまる

介護保険料大幅値上げ 高齢者のくらしを直撃

介護保険料は3年間に回見直しされ、今年本39%もの値上げがされました。介護保険料は所得低い人ほど負担割合高くなり、低所得者は重い負担となっています。

この上、4割ものは上げで、負担がいつも困難となっていました。

また、65歳以上の市民にはあいつぐ増税す。

市内在住のAさん
(77歳女性)の場合は、年金は約一六五万円で、昨年度は非課税で介護保険料は三〇六〇円でした。ところが、今年度は増税で、本人の課税のため、五〇六八〇円、6.6%もの値上がりとなりました。

Aさんの場合、2年間の激変緩和措置が適用されていますが、3年目には保険料は六九〇〇円と、昨年度の

2.3倍にもなります」
「年金は毎年減つてこ
れでは生活ができな
い」Aさんは訴えます。
日本共産党は国にたいし
いし、国庫負担の引き
上げをもとめるととも
に、寝屋川市にたいし
駅前再開発事業など不
要不急の事業を中止
し、介護保険料の値上げ
をやめること、市神
自の減免制度をつくる
ようもとめています。

実現などをもとめることがよせられていました。そして市政のあり方として、「市民の意見を見きっちんときく」とを最も認める意見が最も多くなっています▼厚屋川市は府下市町村でも最も人口減少数が多くなっていますが、20代後半から30代の子育て世代の人口減少、転出者が増加していることがあります。ある若いお母さんは「福祉や教育を後退させてばかり、市民が反対の意見を言つてもとりあげない。これ

介護保険料の決定通知書が65才以上の市民に郵送され、市民から「高すぎて払えない」という声があいついで寄せられています。

がかかるなり、非課税か
課税となり、大幅な
値上げとなる人が増
していきます。

再開発事業などやめ 保険料の値上げ中止を

政治小説研究

日本共産党員団がとりくんでいる市民アンケートの結果、多くの市民から市意見や切実な要

寢室川民報

議会版
発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email : jcpcne@cc-net.or.jp

田中 ひさ子
国松町 10-36
☎ 823-1714

寺本 とも子
豊里町 38-1-105
☎ 829-9424

中林 かずえ
宝町 4-33
電839-2289

中谷 光夫
高宮 155-8
電823-5947

松尾 信次
下木田町 12-6
☎ 821-7427

ねやがわ9条の会発足



広島に核兵器が投下された六日朝、初本町

被爆者との平和をねがうつどい



市内には、準備会を
ふくめて17の地域・
職域・分野ごとの「九
条の会」が活動してい
ます。

5月には、寝屋川團



寝屋川では、〇四年三月に「ねやがわ憲法
を守る会」が結成され、
地域や職場を基礎にし
た活動がすすめられ、
ナインデー（9条にち
なみ9のつく日に）署
名宣伝活動は60回、
「憲法9条を守り平和
のため生かすこと」をも
とめる署名は二三〇〇〇〇をこえています。

9条の会の結成はこの
ような運動と連携し
たものであります。

9月末招集予定の臨
時国会では、改憲手続
き法案、教育基本法改

平和と民主主義 守る運動草の根から

「ねやがわ9条の会」
が、31人のよびかけ
人により、7月に結成
されました。
地・三井团地9条の会
や東九条の会が、「平
和のつどい」、「平和
まつり」を行ななど、
草の根の9条の会の運

動が広がっています。
今回、市内全域を網
羅した「9条の会」が
結成されたことで、九

条を守ろうの運動のい
ます。

十一月五日 大規模な学習交流集会

「ねやがわ9条の会」
では、11月5日、寝
屋川市民会館大ホール
で小森陽一氏（九条の
会事務局長・東大教
授）を呼んで、学習交
流集会を開催する予定
です。

「ねやがわ9条の会」
の前進が期待さ
れています。

公園にある平和の塔の
前で、寝屋川市原爆被
害者の会が、原爆で亡
くなった方を追悼し、
平和をねがうつどいを
開催しました。

また、長崎に核兵器
が投下された9日午前
にも同じ場所で、同様
の行事が行われまし

わが家の朝顔が紫
色のきれいな花を咲
かせ、毎朝見るのが
楽しみです。また、セミ
のなき声が、毎

朝私をおくり出して
くれます。

議員日誌



松尾
信次

長い梅雨がすぎ、
暑い毎日がつづきま
す。適当な休養もと
りながら、議員活動
をすすめたいと思いま
す。



格させる法案などの審
議がされようとしてい
ます。

市民の世論や運動を
強め、平和や民主主義
を破壊する法案を廃案
にすることがもとめら
れています。